

2010年度経営プラン 中間フォロー

2010年11月
古河電気工業株式会社
取締役社長 吉田 政雄

営業利益 **+204億円増** ^{09上} ^{10上}
(-27⇒177)

当期純利益 **4.0倍** ^{09上} ^{10上}
(18⇒70)

電子・自動車分野向け「高機能素材」が回復
ブラジル・中国の「伝送インフラ」は伸張

10上期PL実績增收・増益(前年同期比)

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)

PL	a 09上期	b 10上期	b-a 増減
売上高	3,654	4,569	+25.1%
営業利益	-27	177	+204
為替損益	6	-2	-9
持分法損益	19	4	-14
経常利益	-17	161	+178
当期純利益	18	70	4.0倍

10上期末BS実績 ROA改善

FURUKAWA ELECTRIC

(総資産、有利子負債の単位:億円)

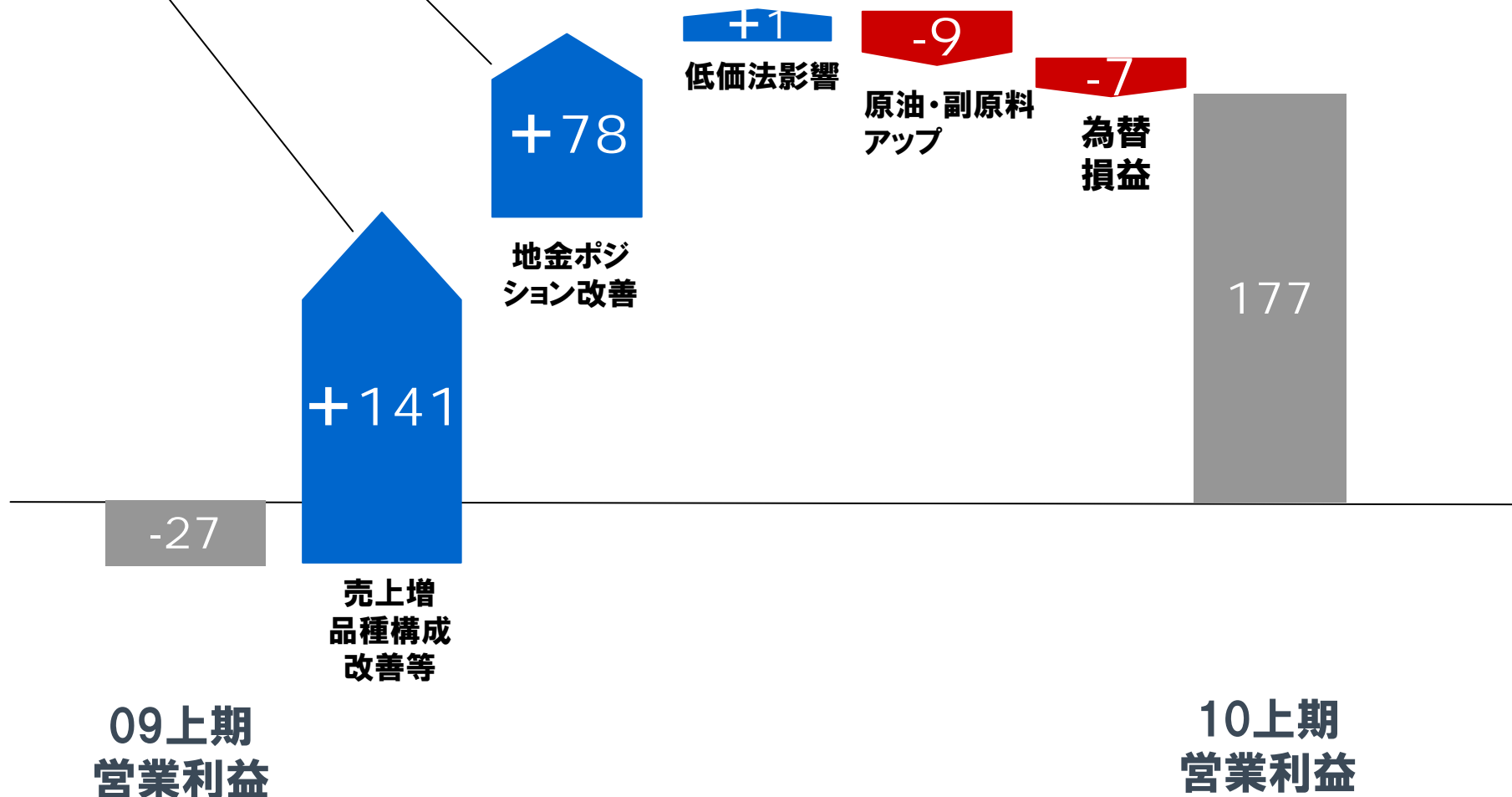
	a	b	b-a
BS	09年度末	10上期末	増減
総資産	8,358	8,397	+39
自己資本比率	19.6%	19.5%	-0.1
有利子負債	3,621	3,713	+92
D/Eレシオ	2.22	2.26	+0.04
総資産回転率	0.97	*1.09	+0.12
ROA (営業利益ベース)	2.4%	*4.2%	+1.8

*年率換算値

営業利益増減分析(前年同期比)

(単位:億円)

売上増・地金ポジション改善で増益、円高影響は-7



セグメント別半期営業利益推移

FURUKAWA ELECTRIC
(単位:億円)

伝送インフラ系

高性能素材系

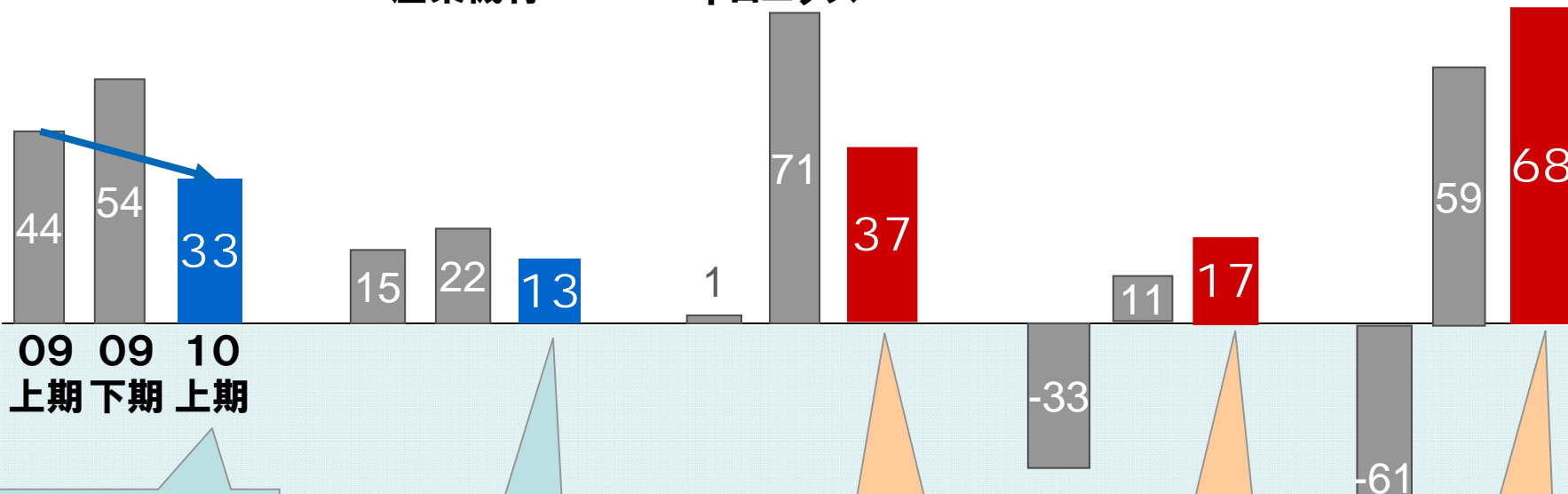
情報通信

エネルギー・産業機材

電装・エレクトロニクス

金属

軽金属



ブラジルの通信ケーブルや北米の特殊ファイバ、国内アンテナ・CATV関連好調も、国内ケーブル・輸出ファイバが低調

中国の超高压ケーブル好調も半導体テープは在庫調整の影響出始め、建設用電線は低調

HD用基板は8月後半以降の在庫調整で減速も、巻線・電池や軽・高級車用ワイヤーハーネスが好調

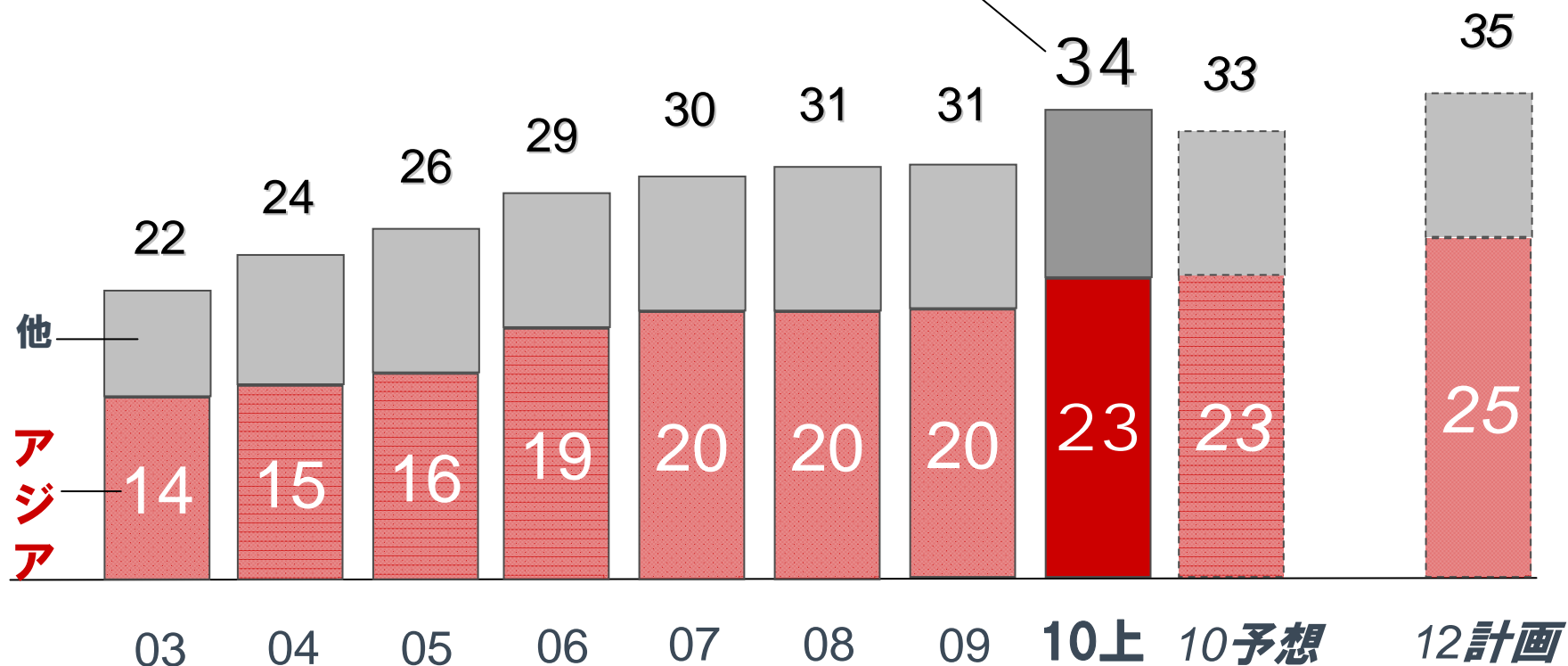
電子部品用銅条やエアコン用銅管、銅箔ともに需要回復したが、8月以降、条・箔で在庫調整始まる

半導体・液晶製造装置向け厚板や、自動車・アルミ缶材等の需要回復

海外売上高比率推移

(単位:%)

アジア向けが3ポイント伸び34%に



●環境認識

「伝送インフラ系」

情報通信・・・ ブラジルLANケーブル・光ケーブル好調続き
国内向けネットワーク需要旺盛も、
国内の光ケーブル・輸出ファイバ低調続く

エネルギー・・・ 国内建設ケーブルは徐々に需要回復するも、
中国の超高压ケーブルや半導体製造用テープ
競争激化

「高機能素材系」

電子／自動車・・・ 電子系の在庫調整は年内終了の見込み
LED液晶テレビ用MCPETはQ4から急増
軽・高級車向けハーネス需要は底堅い

●短期的施策

国内事業で徹底的なコストダウンを実施

光ファイバ・・・生産プロセスの省エネ化を推進

産業電線・・・不採算品撤退、一部品種を海外移管

ガラス基板・・・本格的量産に向け生産性を改善

巻線・・・・・・・・統合会社の本格稼働で効果を出現

銅管・・・・・・・・生産体制のスリム化を推進

●配当方針

年間予想5.5円を据え置き(中間2.5円 期末3.0円)

10年度通期予想は据え置き

FURUKAWA ELECTRIC

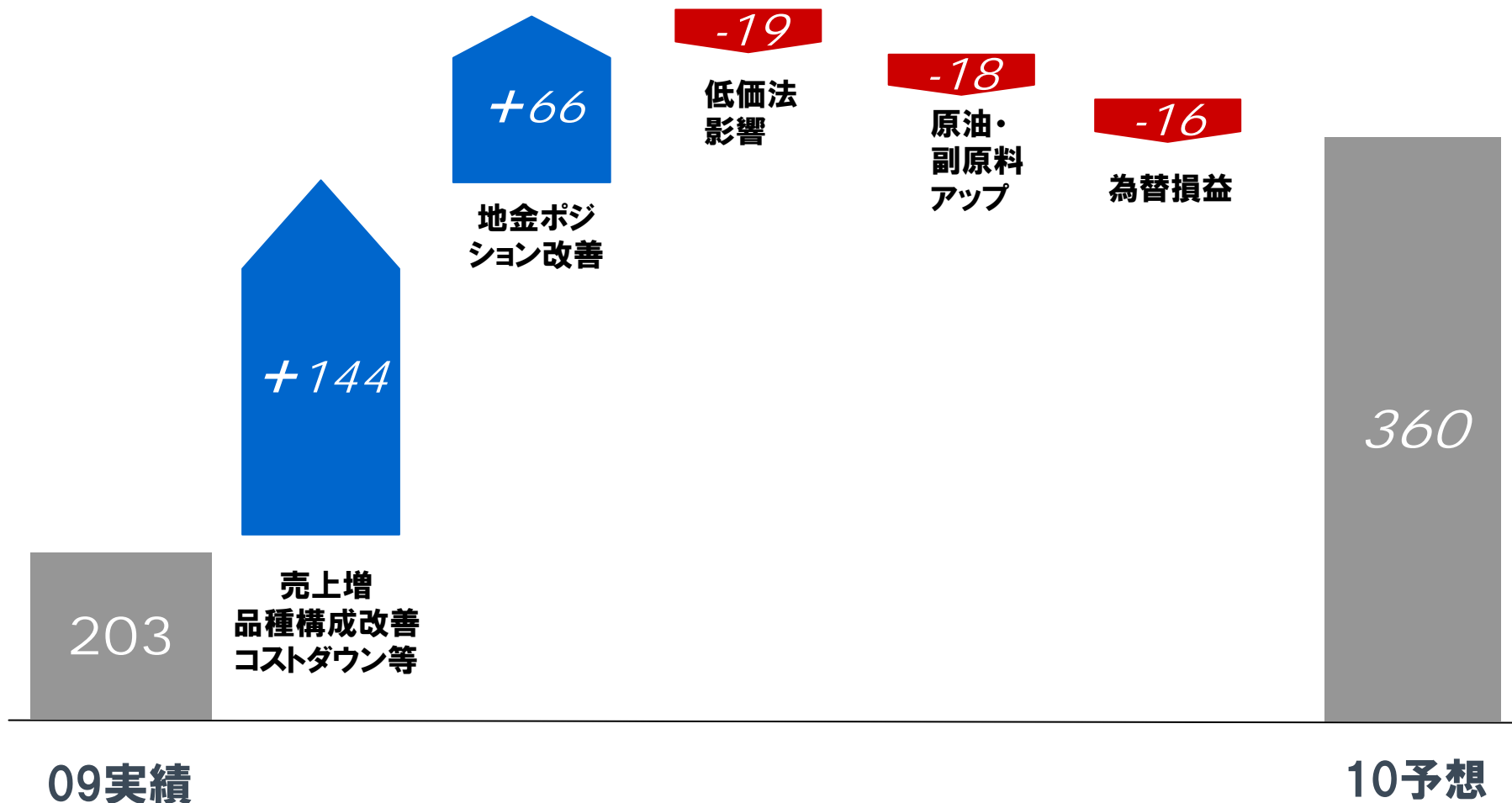
(単位:億円)

	09実績	10予想	増減
売上高	8,097	9,200	+1,103
営業利益	203	360	+157
経常利益	193	320	+127
当期利益	97	125	+28

	(09/4~10/3)	上期実績	下期前提
為替(¥/\$)	92.9	88.9	82
銅建値(¥/kg)	610.3	678	670
アルミ価格(¥/kg)	190.2	245	225
原油(\$/バレル)	69.6	76.5	80

(単位:億円)

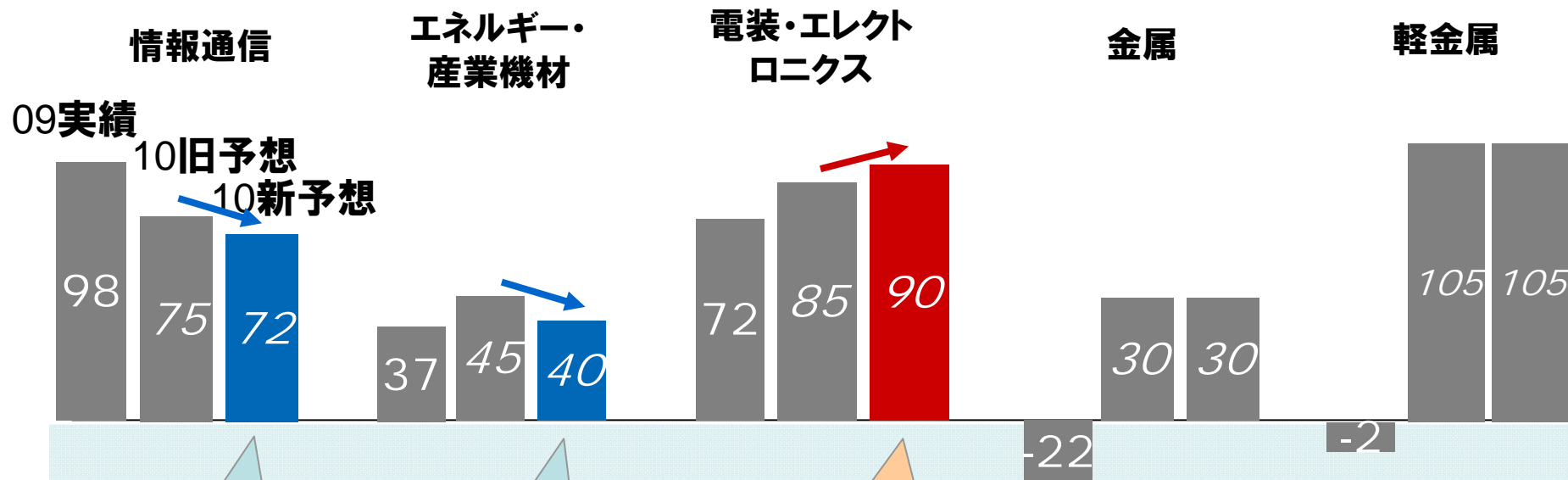
原油高・円高の影響はコストダウンで吸収



セグメント別通期営業利益予想

伝送インフラ系

高性能素材系



ブラジルの通信ケーブルや国内のネットワーク関連好調続くも、円高影響や国内・輸出向けファイバ低調続く

建設用電線が徐々に回復するも、中国の超高压ケーブルや半導体テープは競争激化

HD用基板はQ4に回復の見込み、巻線は統合効果もあり好調、電池や軽・高級車用ワイヤーハーネスの好調続く

高機能素材 在庫調整は年内解消の見込み

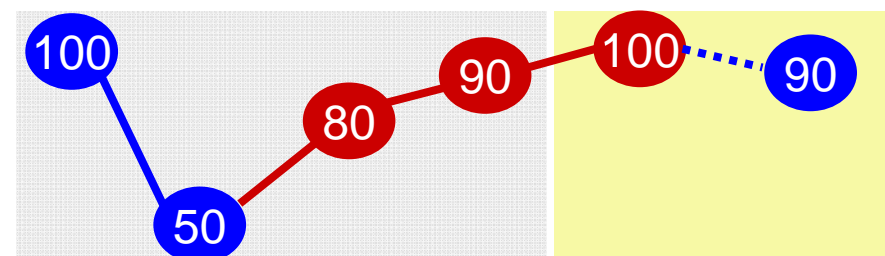
FURUKAWA ELECTRIC

数量ベース
08上=100

08上 下 09上 下 10上 10下予

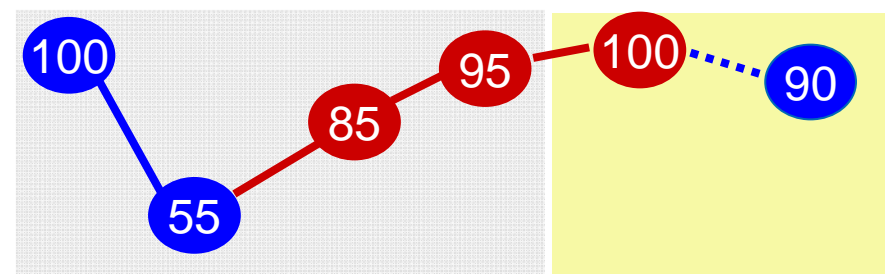
銅箔

(金属:リチウム電池、プリント基板用)



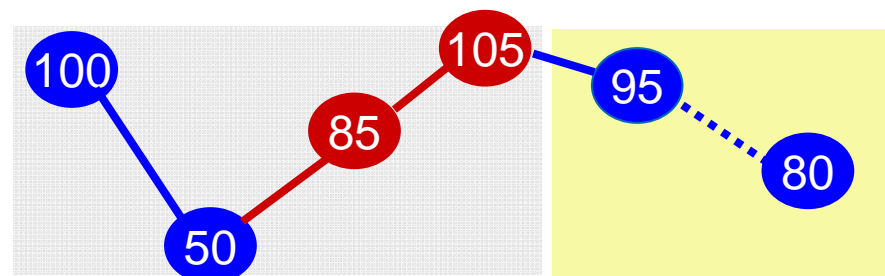
半導体テープ

(エネ産機:半導体ウェハ加工用)



アルミブランク材

(電装エレ:ハードディスク用)



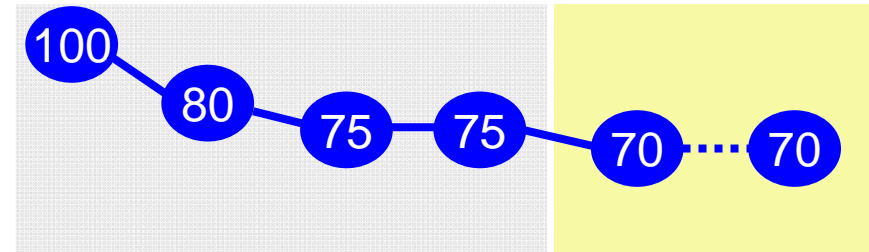
単体・数量ベース

08上 下 09上 下 10上 10下予

08上=100

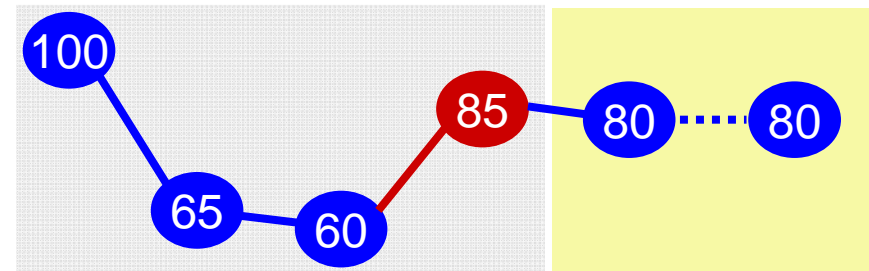
汎用銅線

(エネルギー:電線用)



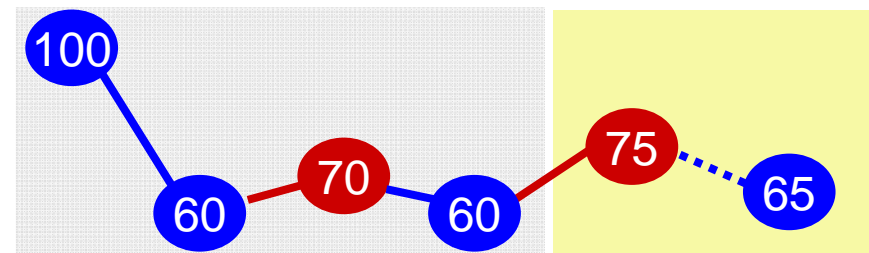
銅条

(金属:リードフレーム、コネクタ材用)



銅管

(金属:エアコン用)



10年度設備投資・研究費予想

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)

設備投資はMCPET増産、その他見直しなどで当初予想+30億円

減価償却費は発生時期ずれなどで当初予想-15億円

	09年度実績	10年度予想	前年比
設備投資	254	360⇒390	+136
減価償却費	425	435⇒420	-5
研究費	173	200	+28

●「伝送インフラ」のグローバル展開

- 【情報通信】 中国ヘントン社とプリフォームJV設立に合意
(11年末稼働予定)
- 【エネルギー】 中国華通社と産業電線JV設立に合意
(10年11月操業開始予定)

●「高機能素材」のポジション強化

- 【産業機材】 LED液晶テレビ用MCPETの量産開始(10年度Q4～)
- 【電装エレ】 ハードディスク用ガラス基板の量産開始(10年度Q3～)
- 【金属】 EV・HEV用電池箔・プリント基板用箔の増産を計画
(12年度稼働予定)

●伝統的銅加工事業の構造改革

- 【電装エレ】 巻線の国内生産を2拠点に集約(10年10月～)
- 【金属】 国内銅管事業の生産体制を見直し(11年度に完了予定)
- 【金属】 中国りん青銅条子会社を合併化(10年末に新会社設立)

●環境新事業育成に向け横断的組織を設置

【スマートグリッド新事業推進室】

送電ケーブル・機器、光通信システム・ネットワーク機器、
蓄電池、自動車部品等で総合力を発揮

研究部門として新商品開発組織を設置

【次世代自動車プロジェクトチーム】

【次世代電池研究開発センター】

【パワー&システム研究所(スマートグリッド対応)】

ご清聴ありがとうございました。

Bound to  ***Innovate***

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。